

研究課題 (テーマ)	日本語検定試験 N1 取得を目指した日本語能力向上講座		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	国際交流委員会	委員長	川上 崇
	知能ロボット工学科	准教授	唐木 智明
研究結果の概要			
<p>瀋陽化工大学との交換留学制度など、本学では留学生の受入れが恒常化しているが、来日直後は日本語で会話することが困難なレベルの留学生が多く、日本語指導が必要である。また、富山県が行った企業アンケートで留学生に求める要素の第1位が日本語能力であるなど、本学に対し留学生への日本語指導が求められている。</p> <p>このような状況に鑑み、本学の留学生を支援するために、(独)国際交流基金と(公財)日本国際教育支援協会が主催する日本語能力試験に対応した、教育効果の高い日本語教育プログラムを実施した。</p> <p>前期は、6/6 から 9/25 の間、試験を含め 15 回実施し、N3 資格及び N2 資格程度の文法を指導した。受講者数は、期間を通して 8 名であった。また、後期は、10/10 から 2/6 の間、試験を含め 15 回実施し、N3 資格及び N2 資格程度の聴解を指導した。受講者数は、期間を通して 6 名であった。</p>			
今後の展開			
<p>プログラムを継続し、在学する留学生を対象に、企業が求める日本語能力の習得を図る。具体的には、日本語能力試験 N1 資格または N2 資格の認定を目標に指導する。日本語能力試験の資格認定を目標とすることで、留学生の学習意欲を維持する。また、習熟度別のクラス編成とすることで、教育効果を向上させる。</p>			